

ふるさと 水

食べる 木

アート 金

得する 土

旅する 日

ぐるっと首都圏

母校を
たずねる

激闘で得た不屈の信条

甲子園初出場エース 鎮目英俊さん =1985年度卒

茨城県立日立一高

1

「母校をたずねる」は今年から、茨城県立日立一高(日立市若葉町)編をお届けします。昨年創立90周年を迎え、「自主・自立」の校風で知られる県内有数の進学校です。初回は1985年に同高を夏の甲子園初出場に導いた立役者、鎮目英俊さん(51)＝85年度卒＝が、高校最後の夏の思い出を振り返ります。

【佐藤則夫】

高校球児の次男を応援しよう、この夏、高校野球茨城大会の開会式をスタンドで見守りました。今年は100回記念のため、歴代甲子園出場校の校旗が入場するシーンがあり、日立一高の校旗を目にして感慨深いものがありました。

夏の高校野球シーズンになると、33年前を思い出します。土浦三高を破り、甲子園初出場を決めた茨城大会決勝は、甲子園でプレーしたことよりも、鮮烈な記憶として残っています。激動の一日でした。エースとして先発マウンドを踏み、三回途中6失点で降板しました。母校の応援団が陣取る三塁側スタンドを横

「母校をたずねる」は今年から、茨城県立日立一高(日立市若葉町)編をお届けします。昨年創立90周年を迎え、「自主・自立」の校風で知られる県内有数の進学校です。初回は1985年に同高を夏の甲子園初出場に導いた立役者、鎮目英俊さん(51)＝85年度卒＝が、高校最後の夏の思い出を振り返ります。

年、日大文理学部を卒業。小学校教諭を経て、ひたちなか市や水戸市の中学校で15年間、野球部顧問を務める。4月から水戸市教育委員会学校管理課長を務める。

しずめ・ひでとし 1967年、茨城県ひたちなか市(旧勝田市)生まれ。小学生時代はリトルリーグで大久保博元さん(元プロ野球楽天監督)とバッテリーを組んだ。1990

古豪健在 伝統の野球部



甲子園初出場を決めた日立一高の選手たち
＝1985年7月27日撮影

しました。「狙っていたんだろ」と冷やかされましたが、打席ではそんな余裕はありませんでした。父の影響で小学2年から野球を始め、プロ野球選手を夢見ていました。小学時代はリトルリーグで関東大会準優勝、中学校の軟式野球部で県大会優勝と関東大会ベスト4を経験しました。自宅から通学ができ、普通科で学べて甲子園を狙える。そんな高校を考え、日立一高に進学しました。常総学院などの私立校が主流になった今と違い、当時は県立の伝統校が強かったのです。

今と変わらず広くないグランドで学べて甲子園を狙える。そんな高校を考え、日立一高に進学しました。常総学院などの私立校が主流になった今と違い、当時は県立の伝統校が強かったのです。

卒業生「私の思い出」募集

県立日立一高卒業生のみさんの「私の思い出」を募集します。300字程度で、学校生活や恩師、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年度、氏名、年齢、職業、住所、電話番号、あればメールアドレスを明記のうえ、〒100-8051、毎日新聞地方部首都圏版「母校」係(住所不要)へ。メールの場合はshuto@mainichi.co.jpへ。いただいた「思い出」は、紙面や毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。

「何事も諦めない」「何かを成し遂げるときには仲間が必要」この二つをこれまでの生き方の指針にしてきました。これからの大事にしていきたいと思っています。

た。12年には全国で9校の候補校の一つに関東・東京地区から選ばれたが、茨城県勢初の21世紀枠での選出はかなわなかった。

スタンド応援では最近、地方大会や全国大会で演奏される応援歌の一つにロックバンド・BRAHMAN(ブラフマン)の「SEE OFF」という曲がある。これを最初に応援に採用したのが01年の日立一高とされている。当時3年生だった水野舞さんがBRAHMANの大ファンで友人たちと一緒に曲をアレンジし、球場で初披露したという。5日開幕する全国大会でも耳にすることがありそうだ。